

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ユスタバ(ハーモニー)		
○保護者評価実施期間	2025年2月7日		2025年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年3月3日		2025年3月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達や特徴に応じた適切な関わりを行っています。そのため、クラス会議やSVなどを通して子どもの特徴のついて職員間で共有できるように心がけています。	特に重度の子どもが多いクラスのため、食事の仕方やトイレなど一人一人特徴を押さえて支援しています。特に、租借が苦手な子の食事介助など、職員がついて丁寧に行うようにしています。活動も、集団の中でも個別性を大切にしながら大人と一緒に活動に参加しています。	今後も子どもたちの発達や特徴を職員間で共有しながら適切に関わっていくとともに、家庭の状況も積極的に聞き取りをして連携をしていきます。
2	職員が、より良く子どもたちと関わって支援し、専門性を高めることができるように、職員の年代や職種に合わせた専門研修があります。	特に虐待防止に関しては週に1度アンガーマネジメントの研修や年代別の研修、外部講師による研修等に積極的に参加しています。	今後も研修の学びを重要な事として参加できる体制作りにも努めていきます。
3	・家族支援を重要な支援として法人全体で取り組んでいます。個別カウンセリング、グループカウンセリング、自助会、親子発達等家族の困り感に寄り添って支援を行っています。	家庭との連携は事業所内面談、グルカン、CSP、送迎時に話す、電話連絡、緊急携帯などで連携を図っています。	これからも保護者に寄り添って困り感には適切な関わりを持つようにチームで関わっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子もたちとの交流が少ない。地域の公園や公共の場で地域の子との交流する機会はあるが、事業所に招いたり、地域の行事に事業所として参加する等は行っていません。	新型コロナウイルス感染症の流行があったから、地域の人たちを招くような活動や行事を積極的に行うことができていません。	引き続き、地域の公園等で活動する際には、地域の子も達との交流を大切にしていきます。
2			
3			